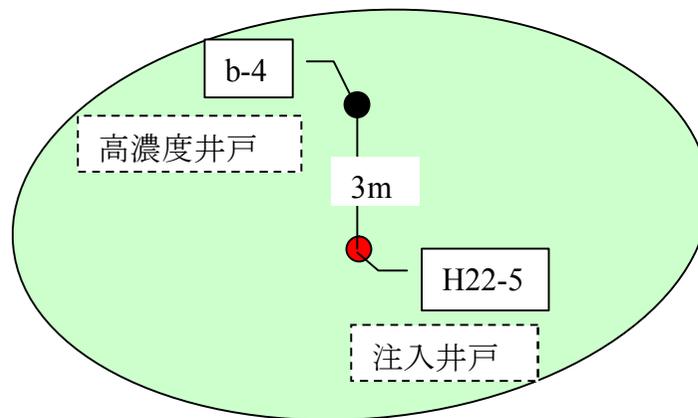


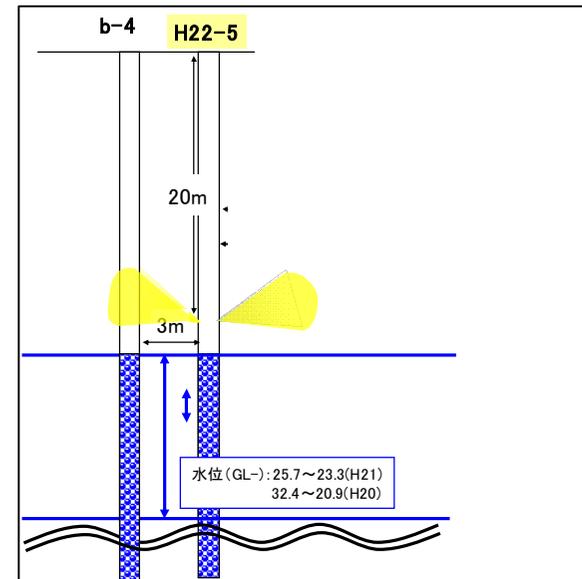
ドライフォグ適用性試験(H22.9～現在)

ドライフォグ技術とは	薄い過酸化水素水(消毒薬等に使用されている、いわゆる「オキシドール」)と空気を一緒に噴霧することによりできる微小な粒(ドライフォグ)を井戸から吹き込み、廃棄物内部の温度を下げるとともに硫化水素の発生源である有機物の表面を緩やかに安定化(分解)して硫化水素の発生を抑制する技術です。
試験の状況	<p>(1)水の噴霧(試運転) 平成22年9月21日～24日</p> <p>(2)0.1%過酸化水素水噴霧 平成22年9月28日～10月22日</p> <p>(3)0.3%過酸化水素水噴霧 平成22年10月25日～平成23年2月3日 ※20日間停止(12月20日～1月11日)</p> <p>(4)0.5%過酸化水素水噴霧 平成23年2月7日～18日</p> <p>(5)1%過酸化水素水噴霧 平成23年2月21日～現在 ※17日間停止(3月18日～4月4日) ※14日間停止(4月25日～5月9日停止)</p>

調査地点位置関係図

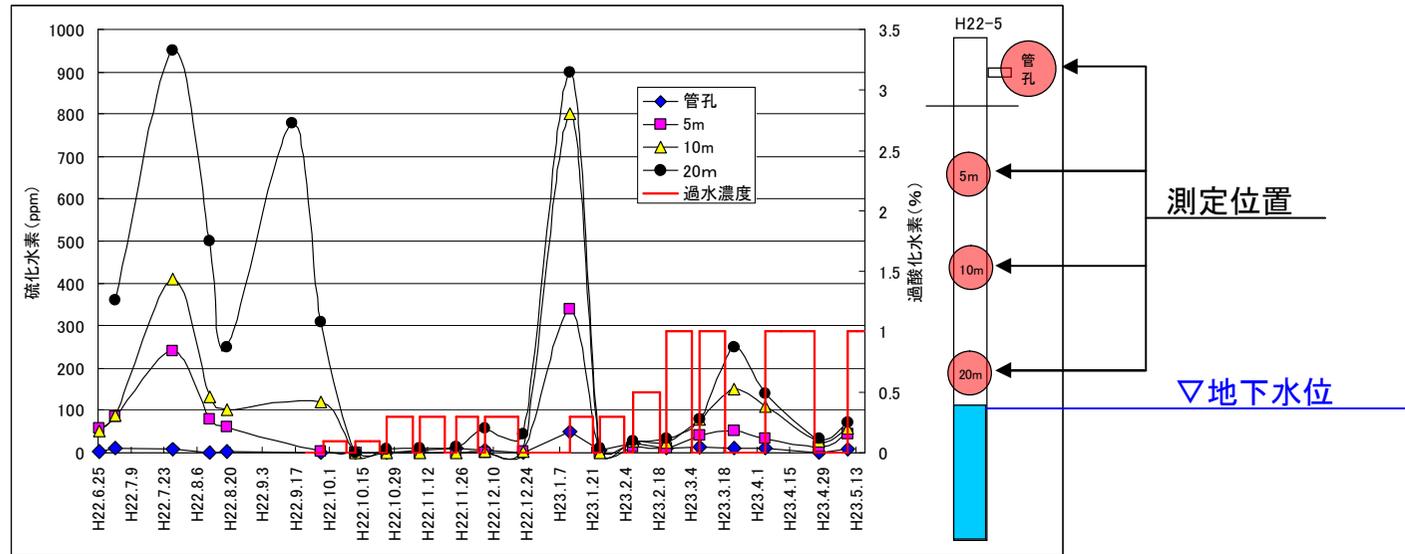


噴霧概要図

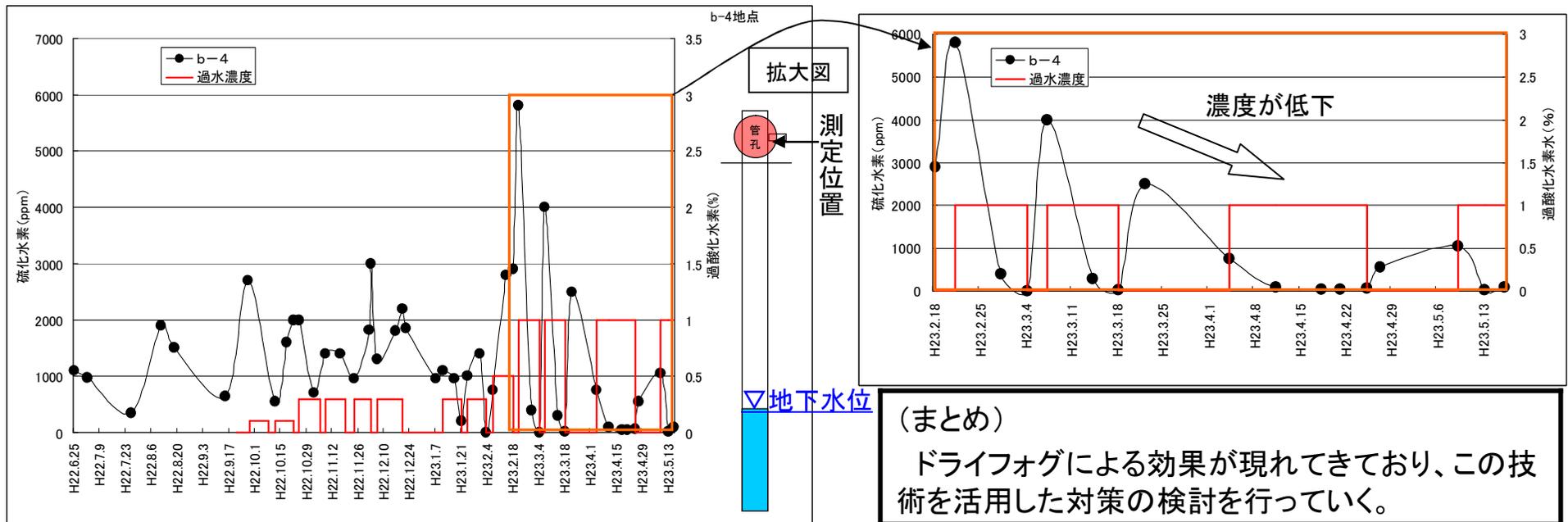


試験結果(H22-5、b-4)

H22-5孔



b-4孔



(まとめ)
 ドライフオグによる効果が現れてきており、この技術を活用した対策の検討を行っていく。